

平成27年度特定非営利活動に係わる事業報告  
平成27年4月1日から平成28年3月31日まで

特定非営利活動法人 文化財保存支援機構

(1) 特定非営利活動に関する事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益者の人数		
①文化財保存技術の研究開発	文化庁補助事業「津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト」への協力	・事務処理協力 ・ワークショップ運営協力 ・関連資料DB	通年	本部事務所その他	職員 1名 スタッフ 3名	日本博物館協会所属館学芸員 一般社会	不特定多数	本部
	文化財保存修復学会大会ポスター発表「被災紙本墨書資料の安定化処理方法と実施計画」	陸前高田市立博物館所蔵の墨書資料を安定化処理した経緯に基づき、その実施計画、安定化処理方法などについてポスター発表	6月27日、28日	京都工芸繊維大学	職員 1名 会員 6名	文化財保存修復学会会員、 一般社会	不特定多数	本部
	標準化仕様準備		通年	関西支部		行政の文化財担当者、文化財所有者	不特定多数	関西支部
②文化財保存修理専門家の養成、研修事業	文化財保存修復専門家養成実践セミナー（レベルⅠ・Aコース）	専門家を目指す学生、若手技術者を対象とした、文化財の保存修復全般にわたる実践的セミナー。	27年8月29日～9月8日（全10日間）	東京国立博物館黒田記念館	受講生18名（聴講生含む） 講師20名／スタッフ5名	・文化財保存修復の専門家を目指す若手技術者及び学生	18名	本部
	文化財危機管理セミナー「陸前高田学校」～文化財保存修復専門家養成実践セミナー（レベルⅡ・Bコース）として～	レベルⅠ修了生と被災地の文化財保存従事者を対象に、文化財の危機管理について学ぶ実践的セミナー。実習を中心にしている。	27年7月27日～8月2日（全7日間）	陸前高田市立博物館 岩手県立博物館	受講生 8名 陸前高田市立博物館職員17名／東博AF4名／講師約13名／スタッフ3名	・文化財保存修復の専門家を目指す若手技術者及び学生 ・被災地域の文化財保存従事者	10名	本部
	文化財保存修復セミナー	これから文化財について学ぼうとする学生や一般市民を対象として、文化財の保存修復全般の基礎を学ぶセミナーの、講師アレンジ	27年4月～12月	本部事務所	職員 1名 スタッフ 2名	関西大学国際文化研究センター		本部
	東アジア文化遺産保存国際シンポジウム支援	東アジア文化遺産保存学会が開催する国際シンポジウムの支援	通期 シンポジウム：8月26-29日	奈良 春日野国際フォーラム	職員 1名 スタッフ 1名	東アジア文化遺産保存学会		本部
	長崎軍艦島と五島列島教会群を巡る世界遺産スタディツアー	長崎県端島、長崎県美術館、五島列島教会群、雲仙、島原を巡るスタディツアー	27年3月19日～22日	長崎県端島、長崎県美術館、五島列島教会群、雲仙、島原	理事 1名 スタッフ 2名	世界遺産に興味を持つ会員及び一般市民	30名	本部
	田川市山本作兵衛コレクションデジタルデータレプリカ作成	記憶遺産に認定された福岡県田川市の山本作兵衛作品のレプリカ作成のコーディネート	通年	九州国立博物館その他	外部協力者 数名 会員 1名	田川市、一般市民	不特定多数	関西支部
	京都府庁行政文書修復支援	京都府の行政文書を修復	通年	京都造形芸術大学	会員数名		不特定多数	関西支部
	重要有形民俗文化財「阿波の和三盆製造用具」の文化財防災カルテ作成	公益財団法人三木文庫（徳島県板野郡松茂町中喜来字中須20）が所有する重要有形民俗文化財「阿波の和三盆製造用具」について、現地で99点を調査し、文化財防災カルテを作成した。※詳細は次頁	27年4月13日～28年1月31日	公益財団法人三木文庫（徳島県板野郡松茂町中喜来字中須20）/上板町の製糖所	会員数名	公益財団法人三木文庫	不特定多数	関西支部
	筆の里（広島県）熊野筆コレクションのハル割がし	不要と判断された過去に貼付したラベルの除去作業		京都造形芸術大学	会員数名		不特定多数	関西支部
	沖縄文化の森 写真保全処置	損傷写真プリントの修復/学芸員へのレクチャー		京都造形芸術大学	1名		不特定多数	関西支部
関大セミナー教材作成	セミナーで配付する紙の見本帖の作成		京都造形芸術大学	1名	セミナー参加者	20名	関西支部	
③災害救援活動	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵民俗資料専門的整理作業業務（実測図作成）	27年4月9日～28年3月16日	陸前高田市立博物館、武蔵野美術大学、神奈川大学常民文化研究所	4名+大学学生	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵美術資料抜本修復業務（書）	27年4月1日-28年3月31日	陸前高田市仮設被災文化財保存修復施設（岩手県立博物館内）	7名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	東日本大震災被災文化財救援事業	陸前高田市立博物館所蔵美術資料抜本修復業務（水彩画・版画/アクリル画・油彩画）	27年4月1日-28年3月31日	陸前高田市仮設被災文化財保存修復施設（岩手県立博物館内）	4名	陸前高田市立博物館及び陸前高田市市民	不特定多数	本部
	災害時の被災情報収集受付システム構築			九州ミュージアムサポートセンター				関西支部
	文化財保存E R	東日本大震災被災資料他、応急処置	通年	京都造形芸術大学	2名+学生会員	被災地	不特定多数	関西支部

(2) . その他目的を達成するために必要な事業

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	受益者の人数		
情報の発信	ニュースレター発行	季刊誌「NPO JCP NEWS」No.30発行	通期	当機構事務局	4人	会員、文化財関連団体	不特定多数	本部
	芸工展への参加	谷中地区の文化祭芸工展に、修復技術者の仲間と共に出展。主に東日本大震災への対応と人材派遣の仕組みについて発表。	10月	平櫛田中邸（谷中）	職員 2名 スタッフ 2名	一般市民	不特定多数	本部
その他	文化財保存修復学会運営協力	文化財の保存修復専門家が多数所属する学会の運営協力支援	通年		事務局 3名 スタッフ 2名	学会員	学会員約1,000名	本部
	HPの改訂、更新	HPを開設してから5年を経過し、リース契約の更新に伴い、デザインを一新して公開した。デザインは現在主流のワイドモニターに対応し、寄付を集めやすいNGO方式のデザインを参考にした。JCPへの参加の仕方についても分かりやすく理解できるよう工夫を凝らした。	平成27年10月-12月	本部事務所	職員 1名 スタッフ 1名	一般市民	約150名	本部
各種依頼、相談受付、技術者紹介等	①川越氷川神社より、本殿彫刻の清掃、補修、保存処置について相談 ②高知県自由民権記念館より、ルイ・ヴィトンのトランク修復仕様について問い合わせ ③第1回文化財保存・復元技術展への協賛名義使用の依頼 ④早稲田大学院生（タイ人）より、日本の大工の伝統技術伝承システムについて問い合わせ	専門家を紹介して欲しい、というメール、電話での相談に対応。	随時	当機構事務局	専門家、工房など数件	相談者	8件	本部

※重要有形民俗文化財「阿波の和三盆製造用具」の文化財防災カルテ作成

災害で被災した際を想定し、文化庁の「和三盆製造用具類重要有形民俗資料指定申請に関する資料」をもとに収蔵資料の確認を行なった。

対象資料は、重要有形民俗文化財「阿波の和三盆製造用具」99点であり、調査内容は、用具の名称、材質、用途、状態を記入するとともに、写真撮影を行い、新たなタグを付与した。

カルテには、現状では汚損・破損・欠損をしている箇所を精査し、所見並びに今後の処置方法等を専門的見地から記載する。

また、写真撮影では、前方・後方・左右・上下など可能な限り多方向から行い、法量などがわかるよう、メジャーや赤白ポール等を写し込んで撮影を行なった。

さらに和三盆製造の情報収集のため、上板町の製糖所に行き上板町教育委員会学芸員から聞き取りを行なった。

成果物は印刷物と電子データ（CDまたはDVD）を徳島県地域伝統文化総合活性化委員会に提出した。

(3) . 27年度事業の反省点と課題

- ・当初目指したニュースレターの発行2回は実現できなかった。
- ・検討事項であった例会の復活は実現できなかった。
- ・例年30人近い参加者を集めるセミナーレベルⅠは、17名に留まった。→文化財修復業界を目指す人材自体が減少しているという傾向もあるが、類似したセミナーも行われるようになっており、異なるコンセプトで再構築する必要性を感じている。